

1. 顧客価値創造プロセスに基づくビジネスシナリオとプロセスに合わせた組織編成

- ・日本ユニシス・グループの提供する IT サービスにより、お客様のビジネス戦略を、最も効果的に、最も迅速に実現することを目指す。
- ・その為に、お客様のビジネス・ライフサイクル、すなわち経営課題の認識/ビジネスモデリング/システム構築/システム運用の全プロセスについて、日本ユニシス・グループが提供するサービス機能を強化する。
- ・グループのサービス機能を集約し強化するために、日本ユニシス本体及びグループ企業の機能を再定義し、グループを再編成する。

2. グループ経営による総合力強化 → 機能集約による効率化と専門性向上/競争力強化

- ・日本ユニシス・グループで、ビジネス・ライフサイクルを、切れ目なく機能連鎖しお客様にとって最適なサービスの提供を実現する。
- ・グループ企業の専門性、特性を活かし、市場における競争力を強化するとともに、グループとして総合力を最大化する。
- ・日本ユニシス本体及びグループ企業の機能を再編成し機能を集約する。それにともない、日本ユニシス及びグループ企業の人材の最適な再配置を行う。また、経営幹部を含む双方向型人事交流を積極的に推進することでグループ全体の活性化を図る。
なお、人材の再配置によって異動する社員については出向扱いとし、今後の人事関連諸施策（転籍制度を含む）については、別途検討の予定です。

■日本ユニシス・グループ各社の役割と規模は以下の通り

- ◆ 日本ユニシス（再編成後：3,000名） — 約1,200名を日本ユニシス・ソフトウェアに、
約400名をユニアデックスに異動
 - ・お客様のビジネス・ライフサイクル、全てのプロセスに責任を持つ
 - ・顧客価値創造を目指した日本ユニシス・グループの高付加価値ビジネス創造を担う
 - ・即ち、主としてお客様のビジネス・ライフサイクルの、経営課題の認識/ビジネスモデリングから IT ソリューションの提案/受注/契約までをカバーする
 - ・また、グループの中心として、新規事業企画、ソリューション/商品企画、先端・中核となる IT 技術を中心とした R&D 機能、グループ戦略企画・推進等を担う
- ◆ 日本ユニシス・ビジネス/日本ユニシス・アカウンティング（100名）
グループの経理、総務等の共通業務
- ◆ 日本ユニシス・ソフトウェア（再編成後2,000名）及び地域ソフト会社（1,000名）
グループのシステムサービス全般及び地域システムサービス全般
- ◆ 日本ユニシス・エクセリョーションズ（300名）
CAD 他、特定ソリューション分野のサービス

- ◆ 日本ユニシス・ラーニング (60名)
教育関連サービス全般
- ◆ エイタス/トレードビジョン (60名)
特定顧客のアウトソーシング関連サービス
- ◆ 日本ユニシス情報システム (250名)
インターネット関連、ASP サービス
- ◆ ユニアデックス (再編成後 2,000名)
プラットフォーム・インテグレーション、ハード/ソフト・サポートサービス
ネットワークサービス
- ◆ O.S.エンジニアリング (30名)
ハードウェア開発
- ◆ 日本ユニシス・サプライ (250名)
サプライ&ドキュメント関連ビジネス

3. 経営機構改革

- ・日本ユニシス及び日本ユニシス・グループの効率的な資源配分、意思決定の迅速化を図るため「経営委員会」を強化するとともに、グループ事業の最大化/最適化を推進する「グループ戦略会議」等を新設する。

4. 事業の選択と集中の推進

- ・新規事業を積極的に創造するとともに、既存事業の業績管理を徹底し、成長性/収益性/戦略性が高く拡大を図る事業と、対極にあつて撤退すべき事業の選択を行い、最適な事業ミックスを構築する。

5. 人事制度改革と人材の育成・確保

- ・現行の評価・報酬制度を大幅に見直し、成果主義に基づくペイフォーパフォーマンスを徹底する。
- ・若手社員の育成、選抜/抜擢を実施するとともに、外部から有能な人材を積極的に採用し、継続した成長を担う人材の確保を推進する。

以上